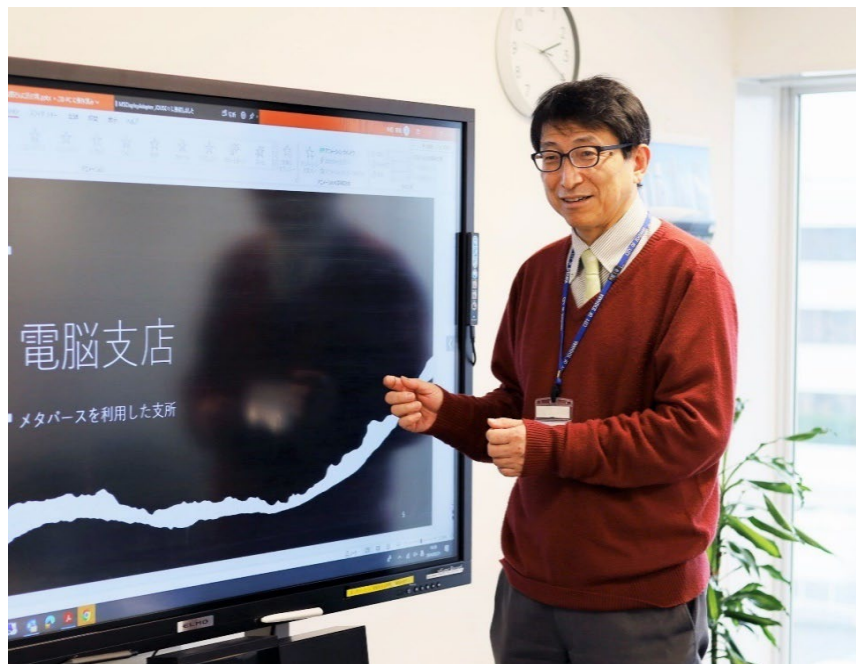


地域人材ネット

自治体による仮想空間の活用 ～今メタバースが面白い～

中田直樹 (なかたなおき)

千葉県市原市 総務部 情報政策課 課長



○ 登録者情報
所在地

千葉県市原市

略歴

1984/4 東京都町田市に入庁
2002/4 東京都町田市の情報部門に異動
(以後19年にわたり市の情報化に携わる)
システム構築多数
新庁舎建設におけるネットワーク構築
2017/4 東京都町田市情報システム担当部長
2021/4 千葉県市原市情報政策課デジタル推進室長
2022/4 千葉県市原市情報政策課長
市のDX推進
人財育成
セキュリティ向上対策

著書・論文等

○ 自治体による仮想空間の活用 ～今メタバースが面白い～

取組の内容

○メタバースを考えたきっかけ

メタバースといえばヘッドマウントディスプレイが必須と置いていたところ、近年PCやスマートフォンでも利用できるようになり、仮想空間がより身近になってきたことが最大のきっかけでした。またデバイスやインフラなど環境も仮想空間を、ある程度利用できるまでに進展し、遅れているといわれる自治体でもメタバースを研究する気運が熟しつつあると肌で感じられたことも大きかったと思います。

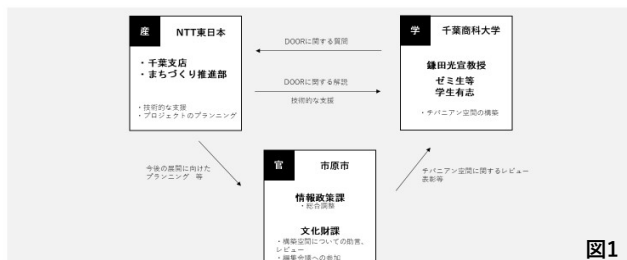
○リアル空間と仮想空間の融合

このような中自治体では窓口など市民とのタッチポイントの改革や業務の効率化を自治体DX推進として進めているところですが、仮想空間にも支所(ここでは電腦支所という)機能を持たせることで市民により良い体験を提供できるものと考えました。

○まずは仮想空間で何が表現できるか

しかしあまり知識のない中いきなり窓口となると運用を考えた設計やそれに伴う庁内の調整が必要になることを考慮し、まずは市原市の文化財をメタバース空間に表現してみようということとなりました。構築に当たりメタバースに知見のある大学の教授や学生さんにお力を借りるとともにメタバースの開発元であるベンダーさんから技術支援を受けるといった『産学官』協働でチームを組み、開発にあたりました。このチームでの役割は図1のとおりです。構築に関してはアジャイル的な手法を用い三者意思疎通を図りながら進め、その間技術的問題を解決し、様々な調整を経て、3月に試験的にリリースできるところまで来たところです。

- ・NTT東日本様はDOORの使い方やプロジェクトのプランニングなどの助言を行う。
- ・千葉商科大学様は、DOORを利用して、チバニアンについての構築を行う
- ・市原市の情報政策課がハブとなり、総合的な調整を行う。



チームの体制と役割分担



産学官によるキックオフミーティング

実績

メタバースに関してはプロデューサー的な位置を担いました

- 産学官という枠組みの構築
- 各セクションの意思疎通、情報共有
- 各調整や発生した問題の解決
- 最後までやり切れるマインドの維持

などを行いました。

一人ではできることではないのでその調整役といったところです。

また

- メタバース空間の開発者にはこの基盤の限界や制約事項
 - 実際の作成段階では3Dソフトの使い手
 - コンテンツをメタバース空間で表現する目的やその後の利用について
- などを来場者視点で調整しました。

工夫した点や苦労した点

産学官という枠組みを成立させ『産』（ベンダーやそこで働く人）『学』（学校や先生、生徒）官（自治体やそこで働く人）が共に何かしらのメリットがあるように考えるといったところに気を配りました。

様々な立場での考え方や理想を一つのメタバースという空間に共存させる（時にはあきらめてもらう）ことなど、技術面もそうですが、人の思いを表現することが難しいというか、経験になりました。

ひとことPR

地方公共団体2団体で実際に勤務した経験があり、また役職も情報系部署ですべてを経験していますので、今回の取り組み内容の他分野でもコーチングができると思います。おそらく日本でもまれなのではと思っています。

その間上記メタバース以外にも庁舎建設やネットワークの設計、敷設、テレワーク、ローコードノーコードによるアジャイル開発等を経験し、現在は都市OSの運用、人材育成、標準化によるシステム開発を手掛けているところです。自治体内で何かお困りのことがありましたらご連絡ください。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

| | |
|------------------------|-------------------------|
| 1.地域資源を活用した地域経済循環 | 2.まちなか再生 |
| 地場産品発掘・販路開拓 | 中心市街地活性化 |
| 6次産業化 | 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策 |
| 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援 | 商店街活性化 |
| 地域中核企業等の支援 | その他 |
| その他 | |
| 3.生活機能の維持 | 4.環境保全・SDGs |
| 地域医療・福祉 | 分散型エネルギーシステム |
| 地域交通 | 地球温暖化対策 |
| 集落機能の確保 | 廃棄物・リサイクル対策 |
| その他 | その他 |
| 5.防災減災・危機管理 | 6.観光振興・交流 |
| 建築物耐震化・長寿命化 | DMOとの連携 |
| 地区防災計画 | インバウンド対応 |
| BCP | 民泊・農泊 |
| 避難所運営 | 地域おこし協力隊の推進 |
| 感染症対策 | その他 |
| その他 | |
| 7.関係人口の創出・拡大 | 8.移住・定住促進 |
| 滞在・活動の場づくり | 起業・事業承継等支援 |
| 地域おこし協力隊の推進 | 空地・空家対策 |
| 地域と関係人口の協働 | 地域おこし協力隊の推進 |
| その他 | その他 |
| 9.少子化対策、子ども・子育て支援 | 10.地域づくり人材の育成・教育 |
| 結婚・出産・子育て支援 | ○ 人材研修 |
| 働き方改革 | ふるさと教育 |
| 子どもの貧困対策 | 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等) |
| その他 | その他 |
| 11.自治体経営イノベーション | 12.シティプロモーション・地域PR |
| 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備) | 地域プランディング |
| 官民連携(PPP・PFI) | メディア活用策 |
| 自治体間連携 | 効果の把握・評価 |
| 住民参加 | ○ その他 |
| EBPMに基づく政策立案 | |
| ○ その他 | |

関連ホームページ

| | |
|-------|---|
| 市原市役所 | https://www.city.ichihara.chiba.jp |
| | |
| | |

連絡先

| | | | |
|---------|----------|--|--|
| メールアドレス | [アットマーク] | | |
|---------|----------|--|--|

※メールを送る際には[アットマーク]を「@」に変えてください。